

少し長あーい 編集後記

昨年暮れから新年にかけて、北海道を含め雪国は豪雪に見舞われました。人的な被害も多く出、我々も雪かきに追われたのは、ついこの間でした。それがいつのまにか暖くなり、春山の残雪の量を気にするような季節が巡ってきました。そんな中、例年通り山のトイレを考えるフォーラムが開催されます。出遅れた資料集準備が何とか約束の締め切りにギリギリで間に合いホッとしています。

無理な日程で原稿依頼をお願いしましたが、快諾して頂いた皆様に本当に感謝しています。今回は盛りだくさんの第二部資料編となりました。

利尻富士町の須間さんには3年続けて熱心な利尻山のトイレ対策を紹介頂きました。日高山脈ファンクラブの高橋さんからは、全国の登山者が関心を寄せる幌尻山荘トイレ改善の活動紹介です。上川支庁の小畑さんにはご苦労されている黒岳バイオトイレ運用状況を紹介頂きました。皆さんお忙しい中、ありがとうございました。

また例年とは少し違った内容として山岳トイレメーカーの方々からの報文を掲載できました。バイオトイレ関係では正和電工殿、大央電設工業殿、土壌処理方式関係ではリンフォース殿、大成工業殿から投稿を頂きました。日頃と別の角度からの資料として参考に願います。

例年と同じように既発表文の紹介も掲載出来ました。日本トイレ協会の上さん、加藤さんから近年の山岳トイレの状況を。環境省、森林総研：庄子さん八巻さんの了解で大雪山登山者入込数の報告書を。筑波大学：伊藤先生の論文を。専修大学の小林先生からは講演 PPT を編集して要旨紹介を。皆さん快く御了解頂きました。厚くお礼申し上げます。

山のトイレを考える会のメンバーからの投稿も数点掲載できました。美瑛富士避難小屋のトイレ設置に向けての活動は、これからが実現に向けて具体的な運びとなります。一層の変わらぬご支援をお願い致します。

この7回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役に立つことを願っています。(M. K)